

社長様、経理担当者様へ

事務所通信

令和5年12月号

よしかわ税理士事務所

税理士・ファイナンシャルプランナー 吉川 るみ子
〒604-8123 京都市中京区堺町通 四条
上る八百屋町 555 番地 303

TEL : 075-366-5944

E-mail : mail@yoshikawa-zei.com

【今月の一言】

今年の漢字は「税」でした。その理由として「一年を通して税に関する話題が続いた」ためと分析されています。「インボイス制度」や「ふるさと納税」のルール厳格化、酒税改正、「新NISA」など様々な税に関する改正や検討がなされました。

確かに賛否両論がある中、多くの国民が不安を抱く内容が多かったように思います。税の原則は「公平・中立・簡素」。近頃の改正は、ピンポイントの狙い撃ちと思われる増税であったり、複雑な制度化であったり、納税者が理解しやすいとは言い難いと感じます。

日本は諸外国に比べ、生産性が低いと言われていますが、難解な税制によりさらに生産性が落ちているように思えてなりません。

12月14日には令和6年度税制改正大綱が公表されています。賃上げ、定額減税などが盛り込まれています。こちらは来月に取り上げる予定です。

【令和5年度補正予算で実施される中小企業支援策】

令和5年度の補正予算にも例年同様に中小企業支援施策が盛り込まれています。今回は支援策の概要についてご案内します。

【中堅・中小企業支援策】

(補正予算額(案) 1,000億円、補助上限額：50億円、下限額10億円)

- ・中堅・中小企業の賃上げに向けた省力化等の大規模成長投資補助金

地域の雇用を支える中堅・中小企業が、足元の人手不足等の課題に対応し、成長していくことを目指して行う大規模投資を促進することで、地方においても持続的な賃上げを実現することを目的とする補助金です。

労働生産性を高めるような工場新設や生産設備投資に対して補助金が支給されますので、特に製造業にとっておすすめの補助金です。

【小規模企業向け支援策】

- ・中小企業省力化投資補助事業

(補正予算額(案) 1,000億円、補助上限額：200万円～1,500万円(従業員数等の要件により異なる)、補助率：1/2)

従来の事業再構築補助金を縮小方向へ再編したものであり、中小企業等の売上拡大や生産性向上を後押しするため、人手不足に悩む中小企業等に対して省力化投資を支援することを目的としています。

IoT、ロボット等の人手不足解消に効果のある汎用品を「カタログ」に掲載し、事業者がそこから選択して導入できるため、利用しやすい補助金になります。

- ・ 中小企業生産性革命推進事業

(補正予算額 (案) 2,000 億円、補助上限額は補助金の種類による、補助率：大半が 1/2 ~2/3、一部 3/4、4/5 もある)

従来からある以下の 4 種類の補助金は継続して実施されます。いずれも対象事業や補助額上限等が従来より細分化されて複雑になっています。

- ① ものづくり補助金

革新的な製品・サービスの開発、生産プロセスの省力化に必要な設備投資を支援

- ② 小規模事業者持続化補助金

自ら経営計画を作成して取り組む販路開拓等の取組を支援

- ③ IT 導入補助金

労働生産性の向上を目的として、業務効率化や DX 推進、サイバーセキュリティ対策、インボイス対応等に向けた IT ツールの導入を支援

- ④ 事業承継・引継ぎ補助金

事業承継や M&A、グループ化後の新たな取り組みや M&A 時の専門家費用を支援

【資金繰り支援に関する支援策】

- ・ 日本政策金融公庫等による資金繰り支援

(補正予算額 (案) 680 億円)

新型コロナウイルスにより影響を受けた企業、物価高騰による影響を受けた企業等の資金繰り支援のため、以下を実施

- ① セーフティネット貸付

物価高騰や処理水放出に伴う風評等の影響により売上減少している事業者に対してセーフティネット貸付の金利引き下げ (▲0.4%) により支援

- ② 資本関劣後ローン

新型コロナウイルスにより影響で債務が増大した企業のため、民間金融機関が資本と看做すことができる長期ローン。実行期限が 2024 年 3 月末まで。

- ③ 貸上げ等に取り組む事業者向け融資

貸上げ等に取り組む事業者に対する、資金繰り支援を拡大

- ・ 中小企業信用補完制度関連補助事業

(補正予算額 (案) 71 億円)

信用保証協会による信用保証制度において、保証料を上乗せすることにより経営者保証の提供を選択できる新制度の構築に際して、信用保証料の一部補助を行う制度。

【最後に】

国や地方自治体は中小企業支援のための様々な施策を用意しています。名称が少しずつ変わり細分化して再編された印象です。自社に状況にマッチするものがあれば有効に利用したいところです。